

でんでんむし教室

(愛媛人工内耳リハビリテーションセンター)



2014年4月1日より、鷹の子病院に愛媛人工内耳リハビリテーションセンターを開設してからこれまで、聴覚障がいを抱える多くの方々にセンターを利用いただきました。



当センターは、人工内耳のリハビリテーションに特化した全国にも数少ない施設の一つです。人工内耳は、補聴器では十分に聞こえない重い難聴の方が、再び「音」を感じられるようにする医療機器です。耳の奥に小さな電極を入れ、音を電気信号として脳に伝えることで、聞こえを助けます。

しかし、手術をただけでは、すぐに言葉を聞き分けたり理解できるようにはなりません。音を聞く力やことばを育てるために、時間をかけたリハビリテーションが大切です。人工内耳の聴覚リハビリテーションは、あたかも“かたつむり”の歩みのようにゆっくり着実に前進していくこれらの地道な取り組みで、長期にわたってなされますが、聞こえやことばの力は、一步ずつの積み重ねによって確実に育っていきます。

乳幼児の方には、家族と一緒に音やことばを学び、遊びや会話を通して自然に言葉の力を伸ばしていきます。

途中で聞こえを失った大人の方には、再び音のある生活に慣れ、会話や社会生活を楽しめるよう支援します。必要に応じて、保育園・学校・職場などとも連携し、生活全体を支えるサポートを行います。

当センターでは、耳鼻咽喉科専門医と言語聴覚士が協力し、県内約300名の人工内耳利用者の方々のリハビリを担当しています。

私たちは、一人ひとりに寄り添いながら、「きこえ」と「ことば」を通して豊かな生活を築けるよう、これからもゆっくり、でも確実に歩み続けていきます。